

第19期事業年度
(令和4年度)

決 算 報 告 書

国立大学法人 浜松医科大学

令和4年度 決算報告書

国立大学法人浜松医科大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	5,563	5,772	209 (注1)	
施設整備費補助金	665	626	△ 39 (注2)	
うち補正予算による追加	0	0	0	
補助金等収入	194	1,380	1,186 (注3)	
うち補正予算による追加	0	0	0	
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	8	0	△ 8 (注4)	
自己収入	27,321	27,173	△ 148	
授業料、入学金及び検定料収入	699	674	△ 25 (注5)	
附属病院収入	26,428	26,251	△ 177 (注6)	
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	194	248	54 (注7)	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,427	2,624	197 (注8)	
引当金取崩	207	226	19	
長期借入金	711	444	△ 267 (注9)	
目的積立金取崩	1,562	1,679	117 (注10)	
計	38,658	39,924	1,266	
支出				
業務費	33,187	33,706	519 (注11)	
教育研究経費	6,861	7,328	467	
診療経費	26,326	26,378	52	
施設整備費	1,384	1,070	△ 314 (注12)	
うち施設整備費補助事業	0	0	0	
補助金等	194	1,360	1,166 (注13)	
うち設備整備費補助事業	0	0	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,427	1,739	△ 688 (注14)	
貸付金	35	19	△ 16 (注15)	
長期借入金償還金	1,431	1,404	△ 27 (注16)	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	0	0	0	
計	38,658	39,298	640	
収入-支出	0	626	626	

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階に予定していなかった運営費交付金の繰越および交付により、予算額に比して決算額が209百万円多額となっています。
- (注2) 落札率の低下により、予算額に比して決算額が39百万円少額となっています。
- (注3) 予算段階では予定していなかった国及び県からの補助金を獲得したため、予算額に比して決算額が1,186百万円多額となっています。補助金等収入には、授業料等減免費交付金が20百万円含まれており、本補助金は授業料免除に使用しております。
- (注4) 予算段階では交付予定だった交付金が令和5年度に交付されることとなったため、予算額に比して決算額が8百万円少額となっています。
- (注5) 主として授業料収入の減等により、予算額に比して決算額が25百万円少額となっています。
- (注6) 主として入院患者数の減少等により、予算額に比して決算額が177百万円少額となっています。
- (注7) 主として駐車場収入の増等により、予算額に比して決算額が54百万円多額となっています。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等のうち732百万円は昨年度以前に受け入れて本年度使用した金額となっています。また、予算段階で予定していなかった受託研究等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が197百万円多額となっています。
- (注9) 予算段階に予定していなかった物品の納品の遅れにより、予算額に比して決算額が267百万円少額となっています。
- (注10) 主として物価の高騰に伴う資材費の高騰等により、予算額に比して決算額が117百万円多額となっています。
- (注11) 主として光熱水料の高騰等により、予算額に比して決算額が519百万円多額となっています。
- (注12) (注2)、(注9)に示した理由により、支出額においても予算額に比して決算額が314百万円少額となっています。
- (注13) (注3)に示した理由により、支出額においても予算額に比して決算額が1,166百万円多額となっています。
- (注14) 複数年契約等による支出年度の差異により、予算額に比して決算額が688百万円少額となっています。
- (注15) 看護学科学学生奨学金支給対象者の選考基準の見直しにより、予算額に比して決算額が16百万円少額となっています。
- (注16) 長期借入金の利率の変更等のため、予算額に比して決算額が27百万円少額となっています。